

ひと目でわかる iOS 15の新機能

本書では、iOS 15に対応しているiPhone SEを使用した操作方法を解説しています（アップデート方法は次節参照）。最新のiOS 15では、より使いやすい機能が追加されました。



Safari

検索フィールドが画面下部に移動し、より高機能なタブバーになりました。タブは、「タブグループ」によって、テーマでまとめることができます。また、起動時に編集可能なスタートページが表示され、従来の「お気に入り」のほかに、ブックマーク、よく訪れるサイト、リーディングリスト、プライバシーレポートなどを表示することができます。



FaceTime

AndroidスマートフォンやパソコンのWindowsユーザーとも会話ができるようになりました。また、「SharePlay」と呼ばれる、音楽やビデオのストリーミングサービスのコンテンツをいっしょに楽しむ機能が、後に予定されているアップデートで提供されます。



集中モード

通知の動作などを、これまでのおやすみモードに加え、シーン別にさらに細かく管理できるようになりました。標準で用意された「運転中」などから選ぶほか、自分だけのモードを作成することも可能です。位置情報や時間で自動的に有効にできるほか、重要な通知は集中モードでも通知することができます。

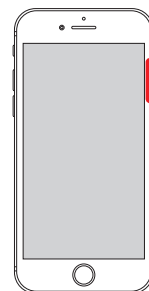


通知

いろいろなアプリから届く1日の通知の要約を、設定したスケジュールに合わせて（標準は午前8時と午後6時）表示できるようになります。利用にはあらかじめ設定が必要です。

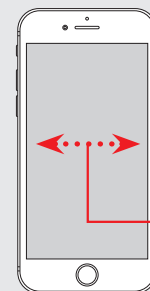


iPhoneの基本的なジェスチャー操作



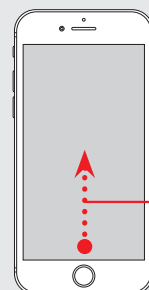
電源をオフにする

サイドボタンを
長押しする



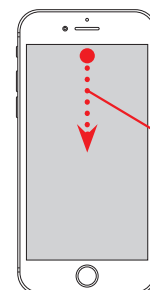
ウィジェットを表示する／
Appライブラリを表示する

ホーム画面で何回
かスワイプする



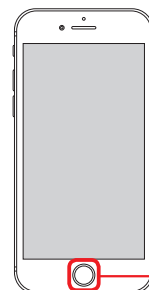
コントロール
センターを
表示する

スワイプする



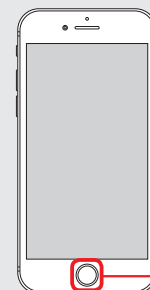
通知センター
を表示する

スワイプする



最近利用した
アプリを
表示する

2回押す



画面を下に
下げる

ダブルタップする

iPhoneの基本操作を覚える

iPhoneは、指で画面にタッチすることで、さまざまな操作が行えます。また、本体の各種ボタンの役割についても、ここで覚えておきましょう。



1 本体の各種ボタンの操作

着信／サイレントスイッチ

消音モードのオン・オフを切り替えることができます（P.54参照）。

音量ボタン

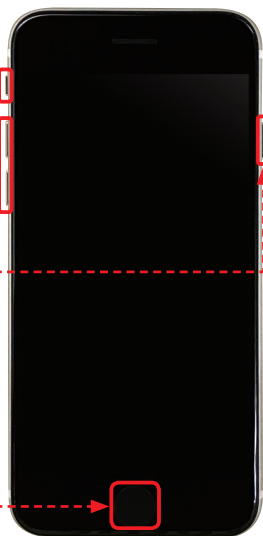
音量の調節が可能です。

サイドボタン

スリープモードの解除や、電源のオン・オフに使用します。

ホームボタン／Touch ID

ホーム画面を表示できます。縦向きの状態で2回タップすると、画面が下がり、すばやく2回押すと、最近利用したアプリが一覧表示されます。指紋認証のTouch IDセンサーも兼ねています。



MEMO 本体を横向きにすると画面も回転する

iPhoneを横向きにすると、アプリの画面が回転し横長で表示されます（画面の向きが固定されていない場合）。ただし、アプリによっては画面が回転しないものもあります。



マルチタッチスクリーンの操作

タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れてすぐに離すことを「タップ」、同操作を2回くり返すことを「ダブルタップ」といいます。



タッチ

画面に触れたままの状態を保つことを「タッチ」といいます。



ピンチ（ズーム）

2本の指を画面に触れたまま指を広げることを「ピンチオープン」、指を狭めることを「ピンチクローズ」といいます。



ドラッグ／スライド（スクロール）

アイコンなどに触れたまま、特定の位置までなぞることを「ドラッグ」または「スライド」といいます。



スワイプ

画面の上を指で軽く払うような動作を「スワイプ」といいます。

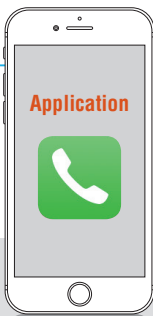


MEMO 触覚タッチ（ハプティックタッチ）

アイコンをタッチして押さえたままにすることを触覚タッチ、もしくはハプティックタッチと呼びます。通常のタッチと異なり、指にコツンとフィードバックするのが特徴です。オプションメニューの表示や内容のプレビュー表示などを行うことができます。

電話をかける・受ける

iPhoneで電話機能を使ってみましょう。通常の携帯電話と同じ感覚でキーパッドに電話番号を入力すると、電話の発信が可能です。着信時の操作は、1手順でかんたんに通話が始まります。



キーパッドを使って電話をかける

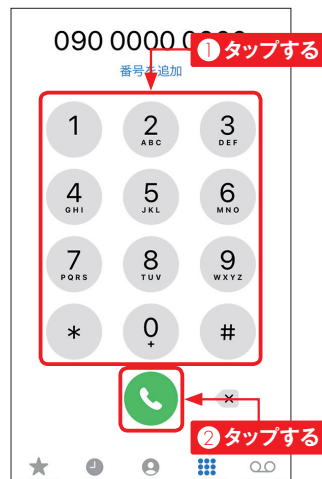
- ① ホーム画面で電話アプリをタップします。



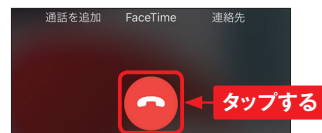
- ② <電話>アプリが起動するので、<キーパッド>をタップします。



- ③ キーパッドの数字をタップして、電話番号を入力し、電話機アイコンをタップします。



- ④ 相手が応答すると通話が始まります。通話終了ボタンをタップすると、通話が終了します。



電話を受ける

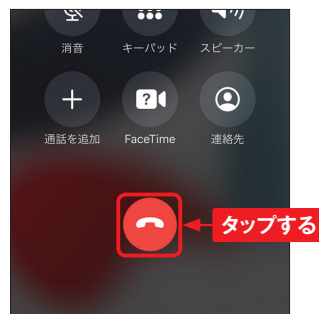
- ① iPhoneの操作中に着信画面が表示されたら、通話拒否ボタンをタップします (MEMO参照)。



- ② 通話が始まります。通話を終える際、バナーが消えている場合はステータスバーをタップします。



- ③ 通話終了ボタンをタップすると、通話が終了します。

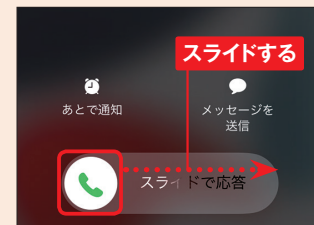


- ④ 手順①で通話拒否ボタンをタップすると、通話を拒否できます。



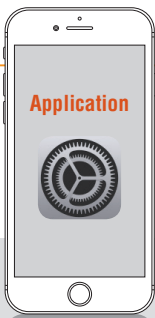
ロック中に着信があった場合

iPhoneのロック中に着信があった場合、画面にスライダーが表示されます。スライダーを右方向にスライドすると、着信に応答できます。また、サイドボタンをすばやく2回押すと、通話を拒否できます。



Apple IDを作成する

Apple IDを作成すると、App Storeや iCloudといったAppleが提供するさまざまなサービスが利用できます。ここでは、iCloudの初期設定を行いながら、Apple IDを作成する手順を紹介します。



Apple IDを作成する

- 1 ホーム画面で<設定>をタップします。



- 2 「設定」画面が表示されるので、<iPhoneにサインイン>をタップします。「設定」画面が表示されない場合は、画面左上の< >を何度かタップします。



- 3 <Apple IDをお持ちでないか忘れた場合>→<Apple IDを作成>の順にタップします。



MEMO すでにApple IDを持っている場合

iPhoneから機種変更した場合など、すでにApple IDを持っている場合は、手順③の画面で「Apple ID」と「パスワード」を入力して<サインイン>をタップし、P.59手順⑭以降へ進んでください。

- 4 「姓」と「名」を入力します。



- 5 生年月日を上下にスワイプして設定し、<次へ>をタップします。



- 6 <メールアドレスを持っていない場合>をタップします。

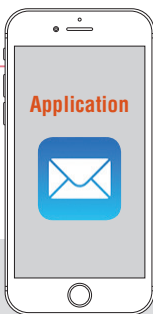


- 7 <iCloudメールアドレスを入手する>をタップします。



iPhoneで利用できるメールの種類

iPhoneでは、SMSやiMessageが利用できます。また、PCメール、GmailやiCloudメールなどのWebメールも使えます。キャリアと契約した端末であればキャリアメールも利用できます。



iPhoneで使える5種類のメール

SMS / MMS



こんにちは! 😊



電話番号宛に送信できるメールです。他社携帯と送受信できるほか、絵文字も利用可能です。

From: 08000000000
to: 09000000000

iMessage



こんにちは~ 🌄



Apple IDとして設定したメールアドレスや電話番号にメールを送信できます。Apple 製品どうしでのみ送受信可能です。

From: Apple ID
to: Apple ID

PCメール



こんにちは、
お元気ですか?



パソコンで使用しているメールです。複数のメールアカウントの登録も可能です。

From: sample@linkup.jp
to: xxxx@xxx.xxx

Webメール



こんにちは~ 🌄



iCloud メールや Gmail といった Apple や Google などが提供する、Web メールサービスです。

From: sample@gmail.com
to: xxxx@xxx.xxx

キャリアメール



こんにちは~ 🌄

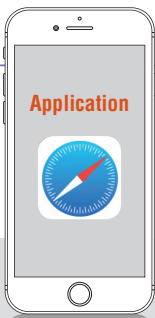


ドコモ、au、ソフトバンクといった各キャリアが提供するメールサービスです。格安SIMの場合、事業者によってキャリアメールの提供方法が異なります。

From: sample@au.com
to: xxxx@xxx.xxx

Webページを閲覧する

iPhoneには「Safari」というWebブラウザが標準アプリとしてインストールされています。パソコンなどと同様にWebブラウジングが楽しめます。



SafariでWebページを閲覧する

- ① ホーム画面で  をタップします。



- ② 初回は「お気に入り」画面が表示されます。ここでは<Yahoo>をタップします。



- ③ Webページが表示されました。



MEMO 「お気に入り」画面とは

「お気に入り」画面には、ブックマークの「お気に入り」に登録されたサイトが一覧表示されます(P.111参照)。また新規タブ(P.106MEMO参照)を開いたときにも、「お気に入り」画面が表示されます。

ツールバーを表示する

- ① Webページを開くと、画面下部に検索フィールドとツールバーが表示されます。



- ② Webページを閲覧中、上方向にスワイプしていると、検索フィールドやツールバーが消える場合があります。



- ③ 画面を下方向へスワイプするか、画面の上端が下端をタップすると、検索フィールドやツールバーが表示されます。



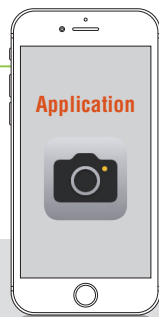
MEMO 横画面でWebページを表示する

Webページを閲覧中にiPhoneを横向きにすると、横画面でWebページが表示され、ツールバーが上部に表示されます(画面を縦向きに固定していない場合)。



写真を撮影する

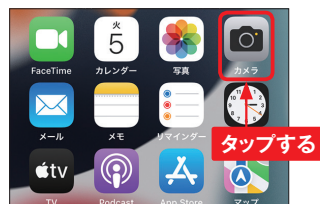
iPhone SEには、背面・前面に各1つのカメラがあります。さまざまな機能を利用して、高画質な写真を撮影することが可能です。なお、シングルカメラでもポートレートモードで撮影できるようになりました。



6

iPhoneのカメラで写真を撮る

- ① ホーム画面で「カメラ」→「>」の順にタップして、位置情報確認の画面が出たら「Appの使用中は許可」をタップします。



- ② 画面をピンチオープンすると、ズームすることができます。



- ③ ビントを合わせたい場所をタップします。タップした位置を中心に自動的に露出が決定されます。そのあとで画面を上下にスワイプすると、露出を変更できます。

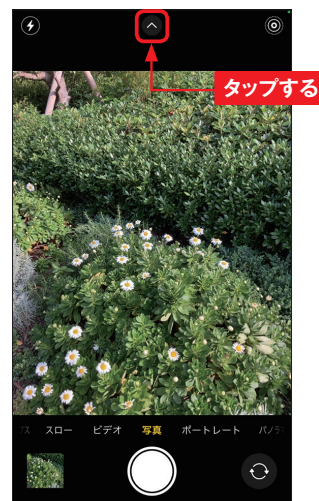


- ④ 〇をタップすると、撮影が実行されます。



撮影機能を切り替える

- ① 画面上部の「^」をタップします。
- ② 撮影機能が表示されます。



- | | |
|---|------------------------------|
| ① | フラッシュのオン／オフを切り替えます |
| ② | Live Photosのオン／オフを切り替えます |
| ③ | 大きさをスクエア／4:3／16:9のいずれかに設定します |
| ④ | 露出レベルを調整します |
| ⑤ | 3秒後または10秒後にタイマーを設定します |
| ⑥ | フィルタを設定します |

MEMO

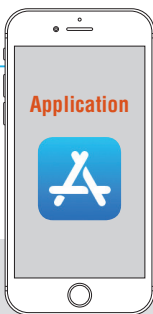
Live Photosとは

Live Photosとは、タッチすると動く写真のことです。「Live Photos」をオンにして撮影すると、通常の写真の撮影と同じように〇をタップするだけで、〇をタップする瞬間の前後1.5秒ずつ、合計3秒の映像と音声は保存されます。オフにしたい場合には、画面上部のⓧをタップして、ⓧにします。なお、Live Photosの写真は、iPhone、iPad、Macでないと再生できないため、それら以外の機種に送った場合は普通の写真として表示されます。

6

App Storeでアプリを探す

iPhoneにアプリをインストールすることで、ゲームや読書を楽しんだり、機能を追加したりできます。<App Store>アプリを使って気になるアプリを探してみましょう。

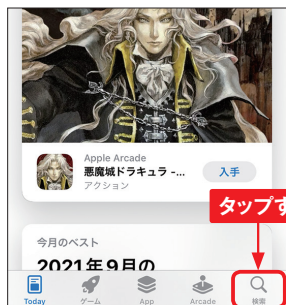


キーワードからアプリを探す

- ① ホーム画面で<App Store>→<続ける>の順にタップします。広告について確認を求められたら、<パーソナライズされた広告をオンにする>または<パーソナライズされた広告をオフにする>をクリックします。位置情報の確認を求められたら、<Appの使用中は許可>をタップします。



- ② <検索>をタップします。



- ③ 画面上部の入力フィールドに検索したいキーワードを入力して、<検索>をタップします。



- ④ 検索結果が表示されます。検索結果を上方向にスワイプすると、そのほかのアプリが表示されます。



ランキングやカテゴリからアプリを探す

- ① P.152手順②の画面で<App>をタップします。



- ② 新着アプリや有料や無料アプリなどを確認できます。画面を上方向にスワイプします。



- ③ 「トップカテゴリ」の<すべて表示>をタップすると、カテゴリが一覧で表示されます。ここでは、<ニュース>をタップします。

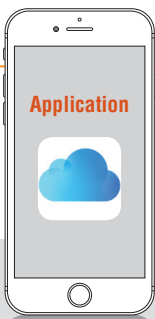


- ④ タップしたカテゴリのアプリが表示されます。画面を上方向にスワイプすると、有料や無料のアプリを確認できます。



iCloudでできること

iCloudとは、Appleが提供するクラウドサービスです。メール、連絡先、カレンダーなどのデータを、iCloudを経由してパソコンと同期できます。



インターネットの保管庫にデータを預けるiCloud

iCloudは、Appleが提供しているクラウドサービスです。クラウドとはインターネット上の保管庫のようなもので、iPhoneに保存しているさまざまなデータを預けておくことができます。またiCloudは、iPhone以外にもiPad、iPod touch、Mac、Windowsパソコンにも対応しており、それぞれの端末で登録したデータを、互いに共有することができます。なお、iCloudは無料で5GBまで利用できますが、有料オプションのiCloud+では月額130円で50GB、月額400円で200GB、月額1,300円で2TBまで容量を追加できます。Apple Music、Apple TV+、Apple Arcade、iCloud+をまとめて購入できるApple Oneの場合は、月額1,100円の個人プランで50GB、月額1,850円のファミリープランで200GBの容量を利用できます。

● iCloudのしくみ

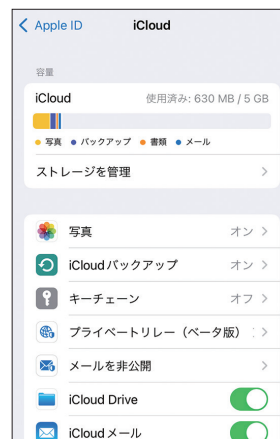


iCloudで共有できるデータ

iPhoneにiCloudのアカウントを設定すると、メール、連絡先、カレンダーやSafariのブックマークなど、さまざまなデータを自動的に保存してくれます。また、「@icloud.com」というiCloud用のメールアドレスを取得できます。

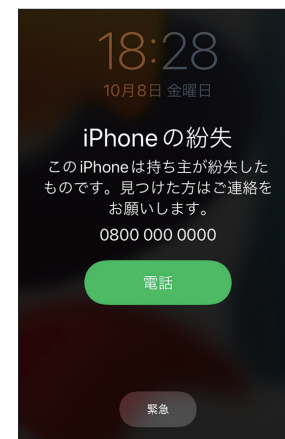
さらに、App StoreからiCloudに対応したアプリをインストールすると、アプリの各種データをiCloud上で共有できます。

● iCloudの設定画面



カレンダーやメール、連絡先をiCloudで共有すれば、ほかの端末で更新したデータがすぐにiPhoneに反映されるようになります。

● 「探す」機能



「探す」機能を利用すると、万が一の紛失時にも、iPhoneの現在位置をパソコンで確認したり、リモートで通知を表示させたりできます。

MEMO iCloudで利用できる機能

iPhoneでは、iCloudの下記の機能が利用できます。

- ・iCloud Drive
- ・書類とデータの同期
- ・連絡先やカレンダーの同期
- ・リマインダーの同期
- ・探す
- ・ファミリー共有
- ・メール (@icloud.com)
- ・メモの同期
- ・バックアップ
- ・Safariの同期
- ・iCloudキーチェーン
- ・iCloud写真

ホーム画面を カスタマイズする

アプリをインストールすると、ホーム画面にアイコンが増えていきます。アイコンの移動やフォルダによる整理を行い、利用しやすいホーム画面にしましょう。



アプリアイコンを移動する

- 1 ホーム画面上のいずれかのアプリのアイコンをタッチし、表示されるメニューで＜ホーム画面を編集＞をタップします。



- 2 アイコンが細かく揺れ始めるので、移動させたいアイコンをほかのアイコンの間までドラッグします。



- 3 画面から指を離すと、アイコンが移動します。ホームボタンを押すと、変更が確定します。



ほかのページに 移動する

ホーム画面のほかのページに移動する場合は、移動したいアイコンをタッチし、画面の端までドラッグすると、ページが切り替わります。アイコンを配置したいページで指を離すとアイコンが移動するので、ホームボタンを押して確定します。



フォルダを作成する

- 1 ホーム画面でフォルダに入れたいアプリのアイコンをタッチし、表示されるメニューで＜ホーム画面を編集＞をタップします。



- 2 同じフォルダに入れたいアプリのアイコンの上にドラッグし、画面から指を離すとフォルダが作成され、両アプリのアイコンがフォルダ内に移動します。



- 3 フォルダをタップし、名前欄をタップしてフォルダ名を入力し、＜完了＞（または＜Done＞）をタップします。



- 4 ホームボタンを2回押し、ホーム画面の変更を保存します。

